

2024(令和 6)年度
大阪府内地域連携プラットフォーム
事業報告書

2025（令和 7）年 3 月

課題 1 大学と高校の有機的な接続・連携の強化

月	会議	行事等
4		HP オープンキャンパス情報の常時掲載
5		大阪の大学「学び」WEB フェアの常時掲載
6	第1回推進委（10日）	共通大学案内ブックレットの作成・配布（6万8千部） 大阪府内の高等学校と大学の連携強化に向けたニーズ調査の実施（8月23日まで）
7	第1回部会（19日）	
8		高校生応援プロジェクトの開催（HPにて公開）
10		高大連携フォーラム（8日）
11	第2回推進委（14日）	
1	第2回部会（20日）	
2	第3回部会（書面）	

取組 1 高大連携フォーラム https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/koudai_forum

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高大双方が高大接続の大きな環境変化に関する情報を共有している。 ・ 高大接続の諸問題を高校と大学が対等な立場で継続的に検討している。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用割合：会員大学数の60%以上の参加大学数／各年 ・ 参加者比率：大学と高校からの参加者数が同程度／計画期間内
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数：1回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回開催（10月8日開催）

- ・ 大阪府内の高校、大学における喫緊の課題をテーマに取り上げ、情報共有や効果的な連携方法について模索する場として「高大連携フォーラム」を開催している。
- ・ 今年度は「高大連携によるキャリア教育・再考～高大連携で育む“未来を生き抜く力”とは～」をテーマに、オンライン視聴も可能なハイブリッド形式で開催した。

<実績>

テ	マ	： 高大連携によるキャリア教育・再考～高大連携で育む“未来を生き抜く力”とは～
開	催	日時：2024年10月8日（火）15：30～17：00
講	演	： Society5.0時代のキャリア形成について考える
講	演	者：若江 眞紀氏（株式会社キャリアリンク 代表取締役）
司	会	進行：峯 明秀氏（高大連携部会推進委員会 推進委員／大阪教育大学 理事・副学長）

<参加者数>

	来場	オンライン	合計
会員大学	15 大学 23 人	10 大学 14 人	21 大学 37 人
会員大学外	1 大学 1 人	7 大学 7 人	8 大学 8 人
高等学校	10 校 13 人	2 校 2 人	12 校 15 人
自治体関係者	0 人	1 人	1 人
民間企業	1 人	5 人	6 人
その他	0 人	2 人	2 人
合計	38 人	31 人	69 人

課題2 単位互換プログラムのさらなる充実

月	会議	行事等
4		前期開講（センター3科目）
5	第1回推進委・単互実務委合同会議（20日）	
7	第1回部会（8日）	広域単位互換制度に関する包括協定締結（1日）
8		追加募集科目 出願開始（22日～） 集中科目開講（センター4科目）
9		後期開講（センター9科目）
10	第2回推進委・単互実務委合同会議（25日）	
12	単位互換実務担当者説明会（6日）	後期開講（センター1科目）
1	第2回部会（27日）	
2	第3回部会（書面）	
3		2025年度単位互換科目シラバス公開（13日～）

取組1 単位互換事業 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/tg>

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センター科目と各大学が担当するオンキャンパス科目の役割やねらいが明確になっている。 ・各大学の強み、ネットワークを活かして「大阪の特徴・魅力」を総合的に学べる機会を提供している。
数値目標	・学生送り出し校数：包括協定校の60%以上の大学数／各年
活動指標	・実施回数：1回／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・1回実施 ・学生送り出し校数：包括協定校の60.0%（最大24/40校）

今年度の全体の出願数は、7月より開始した4つの大学コンソーシアムが参画するネットワーク型広域単位互換制度も含め順調に推移した。なお、詳細は以下のとおり。

【センター科目】

- ・科目数は、新規提供科目を含め、計17科目（前年度実績：14科目、広域単位互換科目1科目は除く）と増加した。
- ・うち1科目（関空・泉州・南大阪地域学）は、南大阪地域大学コンソーシアムからの継承科目である。
- ・出願者数は前年より増加し710人、前年比103.2%となった。※実出願者数は583人
- ・今年度は、会員大学から寄せられた多様なニーズに応えるべく、大阪大学の社会ソリューションイニシアティブ（SSI）に協力を仰ぎ、大阪・関西万博や持続可能な開発目標（SDGs）をテーマに据えたセンター科目「社会ソリューション講義～いのち輝く未来社会を描く」が新設された。なお、本科目は、4つの大学コンソーシアムが実施する広域単位互換制度の提供科目としても位置づけ、様々な地域や大学で学ぶ学生に対し、オンラインで万博やSDGsを多様な視点から学びを深める貴重な機会を提供できた。

【オンキャンパス科目】

- ・科目数は計441科目（前年度実績：416科目）と増加した。
- ・出願者数は大幅に増加し388人、前年比133.3%となった。

<出願実績>

- ・出願者数は在籍大学承認不可および辞退者を除いた数を示す。
- ・2024年度は協定校として大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学はそれぞれ1校として計上。

		2023	2024	当年-前年	前年比
センター	科目数	15 ※うち、広域1	17	+2	113.3%
	出願校数	24	24	±0	100.0%
	出願者数	688	710	+22	103.2%
オン キャンパス	科目数	416	441	+25	106.0%
	出願校数	24	21	-3	87.5%
	出願者数	291	388	+97	133.3%

【広域単位互換ネットワークによる広域単位互換制度の実施】

- ・単位互換制度のさらなる充実を目指し、広域単位互換制度の趣旨に賛同する大学コンソーシアムによる単位互換ネットワークを新たに設置した。

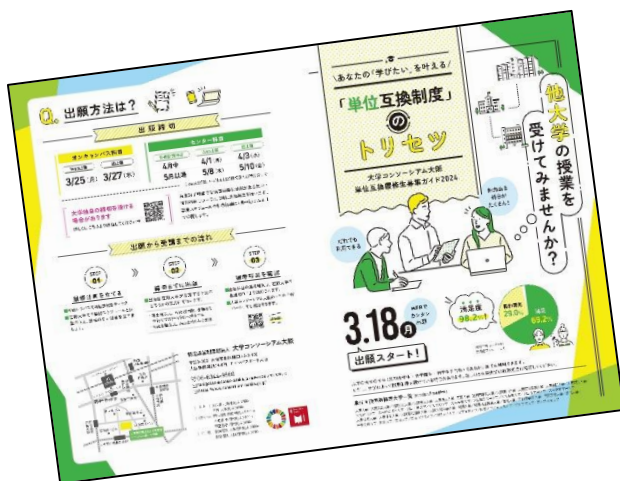
ネットワーク参加団体名	地域
キャンパス・コンソーシアム函館	北海道
(一社)教育ネットワーク中国	広島県
(特活)大学コンソーシアム大阪	大阪府
(公社)ふじのくに地域・大学コンソーシアム大阪	静岡県

※2024（令和6）年7月1日現在

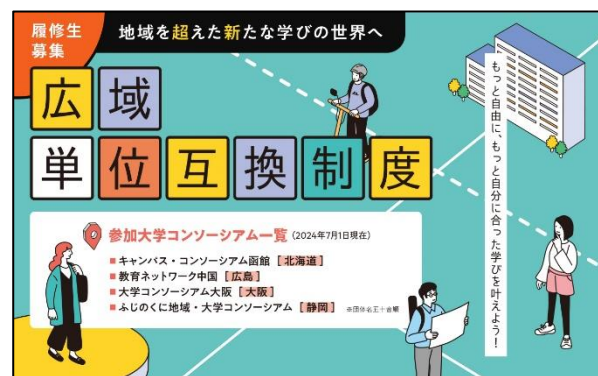
- ・大学コンソーシアム大阪からは3科目提供し、42人を受け入れた。また、他の大学コンソーシアムの提供科目2科目に対し、計3人の送り出しを行った。
- ・次年度から大学コンソーシアム京都および大学コンソーシアム石川が新たに参加意向を示しており、今後より多くのコンソーシアムの参画により更なる制度の拡充を目指したい。



センター科目「関空・泉州・南大阪地域学」集合写真



単位互換履修生募集ガイド



広域単位互換制度 HP バナー

課題3 キャリア教育プログラムの充実と支援体制の強化

月	会議	行事等
5	第1回インターンシップ推進委・ キャリア支援推進委合同会議（15日）	就業体験型 学生向け説明会（8日） 就業体験型 学生出願期間（8日～24日）
6		就業体験型 面接・選考（2日） 就業体験型 事前研修（30日）
8	第1回部会（5日） 第2回インターンシップ推進委・ キャリア支援推進委合同会議（26日）	就業体験型 実習期間 （～9月中旬まで）
9		第1回大学等教職員向けセミナー（11日） 就業体験型 事後研修（29日）
11	第3回インターンシップ推進委・ キャリア支援推進委合同会議（27日）	
2	2025年度 企業・団体向け事業説明会 （12日） 第2回部会（21日） 第3回部会（書面）	低学年向けプログラム 第1回（15日） 第2回大学等教職員向けセミナー（18日）
3	2025年度 大学向け事業説明会（24日）	低学年向けプログラム 第2回（3日）

取組1 就業体験型プログラム

目標	・参加した学生が社会人としての心構えや「働くこと」についての理解を深め、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 ・留学生、障がい学生、社会人学生など多様な学生と社会をつなぐ機会となっている。
数値目標	・学生送り出し大学数：会員大学数の60%以上の参加大学数／各年 ・参加学生数：150人以上／各年 ・受入企業数：100社以上／各年
活動指標	・実施回数：1回／各年
実績	・1回実施 ・学生送り出し大学数：38.1%（16校/会員42校）

<就業体験型 実績>

	出願者数	マッチング数	実習者数	受入企業数	エントリー数	マッチング数	送出数
大学数	17校	16校	16校	受入企業数	103社	65社	62社
人数	167人	148人	142人				

- ・出願者は前年度と同数（167人）であったが、実習者は前年度139人に対し、今年度は142人と微増した。
- ・受入先は103社（推薦枠を含む）がエントリーし、うち62社に送り出しを行った。エントリー数は前年度よりやや減じたが、送出率は向上した。（前年度：エントリー117社/送出69社）。
- ・事前研修はオンラインにて、事後研修については「大阪公立大学 I-site なんば」を会場に对面にて実施した。

取組2 プロジェクト型プログラム

目標	・参加した学生が現場での経験により、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 ・学生による提案内容が連携先企業をはじめ、社会的に評価・関心を高めている。
数値目標	・学生送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年 ・参加学生数：30人以上／各年
活動指標	・プログラム本数：2件以上／各年
実績	・事業見直しのため、実施なし

- ・従来実施してきたプロジェクト型プログラムに関しては、国の三省合意改正を受けて、プログラムの在り方の見直しを進めてきた。近年、同プログラムの学生の参加者数減の傾向が続いていること、ま

た実施体制が整わないことを理由に、今年度から次項の「低学年向けプログラム」を軸に事業展開する方向に改めることとしている。

取組3 低学年向けプログラム (旧 就活クエスト in OSAKA)

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参集型では難しかった遠隔地や特殊な現場など、これまで知る機会がなかった仕事について、学生が具体的なイメージを持つことができています。 ・ 学生が、プログラムを通じて企業活動の意義とそこで働く人の役割の一端を理解している。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年 ・ 参加学生数：60人以上／各年
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数：3回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回開催（第1回：2月15日、第2回：3月3日）

- ・ 早期から実社会に触れることによる学修の深化や主体的な職業選択、また高い職業意識の涵養を目的として、低年次学生を主対象に単日のワークショップ形式にて全2回実施した。
- ・ プログラムを通じて学生が大阪の産業構造を知り、府内の中小企業の魅力に触れる機会を提供した。

<低学年向けプログラム>

回・開催日	テーマ・会場・講師等・参加者数
第1回 (2月15日)	<p>テーマ：就活のリアルと社会の本当のトコロを深掘り！若手社員との座談会 会場：キャンパスポート大阪 講師：関西マツダ株式会社 光明池店 販売スタッフ 大出 乃愛氏 第一生命保険株式会社 大阪北支社 営業推進グループ 水谷 友彦氏 豊中市役所 都市活力部 魅力文化創造課 都市ブランド推進係 主事 長田 知子氏 ファシリテーター：大阪樟蔭女子大学 学芸学部 准教授 高松 直紀氏 参加者数：4大学8人（うち会員外1大学1人）</p>
第2回 (3月3日)	<p>テーマ：大阪のシャッター商店街は再び盛り上がるのか？！ ～人流をつくる・ゼロイチの仕事人たち～ 会場：北田辺商店街（商店街内施設にて参集） 講師：株式会社エー・ティ・エー 西日本事業部 企画営業室 ディレクター 長谷川 雅代氏 大阪シティ信用金庫 企業支援部 理事・第一部長 阪井 誠一郎氏 特定非営利活動法人北田辺プロジェクト実行委員会 澤田 伸子氏 ファシリテーター：追手門学院大学 WIL 推進センター センター長 共通教育機構 特任准教授 大串 恵太氏 参加者数：8大学12人（うち会員外1大学1人）</p>

取組4 キャリア支援事業

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時宜に応じたキャリア支援の課題に会員大学が連携して対応している。（就職に困難性のある学生に対する支援、学生の多様性に対する支援など） ・ 就職支援のための関連団体との連携が拡大し、充実した支援を実施している。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数：1回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大学等教職員向けセミナー」 2回開催（第1回：9月11日、第2回：2月18日）

【大学等教職員向けセミナー】

- ・大阪府との共催にて、発達障がい傾向を有するなど就職困難性がある学生の支援方法について理解を深めることを目的に2回にわたり開催した。

<開催スケジュール>

回・開催日	テーマ・会場・講師等・参加者数
<p>第1回 (9月11日)</p>	<p>テ — マ：障がい学生や要支援学生の就職について考える 会 場：キャンパスポート大阪 講 師：村田 淳氏（京都大学 准教授） 塚田 吉登氏（社会福祉法人すいせい 理事） 島津 悠貴氏（社会福祉法人すいせい マネージャー） 窪 貴志氏（株式会社エンカレッジ 代表取締役） 小川 健氏（株式会社エンカレッジ 主任） 参加者数：33人（うち会員19人 大学26人）</p>
<p>第2回 (2月18日)</p>	<p>テ — マ：就職困難性の高い要支援学生の就職・キャリア支援を 検討するための企業との交流会 会 場：キャンパスポート大阪 参加企業：大阪府中小企業家同友会 会員企業 約7社 ファシリテーター：松田 剛典氏（一般社団法人キャリアラボ 代表理事） 参加者数：10人（うち会員8人 大学10人）</p>

課題4 国際交流の活性化

月	会議	行事
5	第1回推進委（17日）	
6		学生英語プレゼンテーションコンテスト 発表者募集開始（14日～）
7	第1回部会（11日）	
8		会員大学へ外国人留学生向け特設ページの情報提供依頼 （5日～）
9		第1回グローバル人材育成講座（28日） 学生英語プレゼンテーションコンテスト 運営メンバー募集開始（下旬）
10	第2回推進委（10日）	大阪まちあるきツアー企画学生募集開始（初旬）
12		学生英語プレゼンテーションコンテスト（1日）
1	第2回部会（16日）	
2	第3回部会（書面）	
3		大阪まちあるきツアー（13日） 外国人留学生向け特設ページ設置（年度内）

取組1 他国・他地域との交流事業

目標	・明確な目的をもって、国際交流事業を実施している。 ・さまざまな交流プログラムを検討・実施している。
数値目標	・交流事業数：延べ5事業／計画期間
活動指標	・交流事業開催回数：1回以上／各年（再開以降）
実績	・HP上に外国人留学生向け特設ページを設置

- ・コロナ禍以降、台湾高等教育国際合作基金会との交流が進展しない状況が続いていたため、今年度より会員大学が共同で実施する外国人留学生を対象とした事業を新たに展開することとした。2024年度中に大学コンソーシアム大阪のウェブサイト外国人留学生向けの特設ページを開設する予定であり、12大学から掲載情報の提供があった。

【外国人留学生向け特設ページ概要】

- 対象：大学進学を目指す外国人留学生
- 掲載大学：12大学
- 対応言語：日本語および英語
- 内容：以下のとおり

会員大学紹介	各大学から提供情報を掲載
大阪での留学生活の紹介	正規留学生のインタビュー記事を掲載 ※インドネシア、ネパール、モンゴル他からの留学生計8人
学べる分野	会員大学学術マップ（簡易版）
留学生支援に関する情報	日本（大阪）での生活や学び等に役立つWEBページ等の紹介

目標	・日本の現状と課題を認識し、グローバルな社会課題の解決策を考えるきっかけとなっている。 ・多文化共生・異文化理解、ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）という価値観を育む機会となっている。
数値目標	・講座受講者数：延べ300人以上／計画期間内
活動指標	・講座開催回数：2回以上／各年 ・国際交流イベント開催回数：1回以上／各年
実績	・講座：1回開催（第1回：9月28日）※計画見直しのため、1回開催のみ ・国際交流イベント：1回開催（2025年3月13日、大阪まちあるきツアー）

【講座】

＜実績＞

テーマ：サステナビリティと共に歩む未来のキャリア～「人生の軸を探す」
日 時：2024年9月28日（土）10：00～17：30
講 師：亀田 樹氏（株式会社LODU 副社長 COO）
受講者数：7大学9人（うち留学生3人）

【国際交流イベント】

- ・身近なまち「大阪」のまちあるきを通じて、国内学生・留学生それぞれの大阪観や日本観を共有することにより、異文化交流に対する理解を促し、新たな気付きや価値観の獲得に寄与するため、「大阪のまちあるきツアー」を実施した。今回は東大阪を舞台として、ツアー企画・運営に有志学生11人が携わった。
- ・当日は、会員大学の国内学生や留学生、また留学生支援コンソーシアム大阪を通じて参加した留学生による活発な交流が行われた。



＜企画学生数＞

	申込者数	選出数
大学数	10	5
人数	42	11

＜ツアー参加者数 計28人＞

	国内学生	留学生
学校数	6	10 (うち会員外4)
人数	12	16 (うち会員外4)

企画学生募集チラシ

取組3 学生英語プレゼンテーションコンテスト

https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/en_presentation

目標	・学生が発表に至るまでにグループワークを重ね、プレゼンテーションスキルを学ぶ機会となっている。 ・国際共通語としての「英語」を用いて、国際的な共通課題の解決策を斬新な発想で考え、意見交換する機会となっている。
数値目標	・会員大学数の50%以上の参加大学数（発表大学、運営学生、当日の来場者等）／各年 ※2024年度に目標改定 ・参加者数：英語圏以外の留学生の参加増／計画期間内
活動指標	・開催回数：1回／各年
実績	・1回開催（12月1日開催）

＜実績＞

日 時：2024年12月1日（日）10：00～16：40
会 場：関西大学 梅田キャンパス 8階 大ホール
発表テーマ：「大阪の大学生が描く、いのち輝く未来社会の実現に向けたアクションプラン～万博のレガシーを繋ぐ、持続可能な都市づくりへの挑戦～」
SDGs 達成を念頭に、万博のレガシーを継承した未来都市「大阪」のあるべき姿を思い描き、それに向けて、実行、また持続させるための具体的なプランを提案してください。

- ・高い国際意識やコミュニケーションスキルをもつ若者の育成に寄与することを目的に毎年開催している。
- ・万博に関連するテーマを設定していることから、(公社) 2025年日本国際博覧会協会より審査員派遣の協力を得た。
- ・今年度は、国際交流促進の観点に鑑みて、出場チームには必ず日本人学生を1人含める条件を設けた。また、英語を第一言語とする話者の参加は不可とするなど、出場要件を明確化した。

<発表>

チーム数	大学数	学生数
10	8	24 (うち留5)

<運営メンバー>

	応募者	選出数
大学数	4	3
学生数	16 (うち留2)	9 (うち留1)



記念撮影

<来場者>

	会員大学	その他
大学数	10	-
人数	23	2

課題5 地域連携の促進による大阪・関西の活性化

月	会議	行事等
5		地域連携学生フォーラム 学生運営メンバー活動開始 (29日)
6	第1回推進委員会 (18日)	地域連携学生フォーラム 発表者募集開始 (21日)
8	第1回部会 (2日)	地域連携学生フォーラム 発表者募集締切 (23日)
9		地域連携学生フォーラム 観覧者募集開始 (下旬)
10	第2回推進委員会 (20日)	地域連携学生フォーラム (20日)
11		地域連携交流サロン (29日) 大阪市立野田中学校キャリア教育プログラム 授業開始 (~3月17日まで)
2	第2回部会 (26日)	
3	第3回部会 (書面)	

取組1 地域連携 学生フォーラム in Osaka

https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/gakusei_forum

目標	<ul style="list-style-type: none"> 大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に起こっている。 学生の提案事項や連携のノウハウが蓄積され、それらを会員大学や自治体が共有している。 大阪・関西万博に向けて、学生がつながり、関わる場となっている。
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> 会員大学数の50%以上の参加 (発表大学、運営学生、当日の来場者等) / 計画期間内 ※2023年度に目標改定 参加する行政・事業所数: 15団体以上 / 計画期間内
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> 開催回数: 1回 / 各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> 1回開催 (10月20日開催)

- ・会員大学の学生自らが取り組む地域活動 (ゼミ活動やボランティア等) について発表し、交流を深めることを目的としたフォーラムを毎年開催している。
- ・今年度はポスター形式により、6大学6事業の発表が行われた。
- ・本フォーラムの開催にあたり、6大学9人による学生運営メンバー約5か月間にわたり活動した。
- ・学生運営メンバーによる学生交流企画として、万博協会を招き、若者 (大学生) の万博参加促進に繋がるアイデアをともに考えるワークを実施した。

<開催概要>

開催日時: 2024年10月20日 (日) 10:00~17:00
会場: グランフロント大阪 北館タワーC 8階 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム タワーC Room C01+C02
テーマ: 集え!! 大阪 LOVER ~出会い、地域で支え合い~
発表事業数: 6大学6事業
運営学生数: 6大学9人

<参加者数>

発表学生	21人
学生参加者 (ゼミ生、チームメンバーなど)	9人
学生運営メンバー	7人
大学教職員 (担当教員、事務担当者等)	7人
その他関係者 (連携先関係者等)	2人
一般来場者	12人
万博協会 (ゲストスピーカー)	2人
部会長・推進委員	5人
合計	65人

課題6 研修による大学教職員の資質向上とネットワーク強化

月	会議	行事
4		インストラクショナルデザイン (ID) 研修 オンデマンド 通年公開
5	第1回推進委 (15日)	
6		初任者 SD 研修 (第1回) (20日)
7	第1回部会 (24日)	
8	第2回推進委 (26日)	
10		初任者 SD 研修 (第2回) (25日)
11		サロン (第1回) (27日)
12		初任者 SD 研修 (第3回) (17日)
1		サロン (第2回) (15日)
2	第2回部会 (7日) 第3回部会 (書面)	サロン (第3回) (14日) 管理職者 SD 研修 (27日)
3	第3回推進委 (4日)	

取組1 各種研修

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員大学のニーズに応じた研修を実施している。 ・ 研修講師を担える人材の育成が図られている。
数値目標	・ 教職員送り出し大学数：会員大学数の25%以上の参加大学数／各年
活動指標	・ 実施回数：2回以上／各年
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者 SD 研修：3回実施 (第1回：6月20日、第2回：10月25日、第3回：12月17日) ・ インストラクショナルデザイン (ID) 研修：オンデマンドにて提供中 ・ 管理職者 SD 研修：1回 (2025年2月27日)

【初任者 SD 研修】 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/sd>

- ・ 大学職員として幅広い業務遂行能力を高めるために必要なスキルを考える機会、および異なる大学の職員との共同研修を行うことで情報交換や会員間のネットワークを形成する機会を提供することを目的として、対面にて全3回実施した。

<開催スケジュール>

回・開催日	テーマ	講師 (いずれも推進委員)	受講者数
第1回 (6月20日)	大学職員の仕事の進め方	宮原 秀明氏 (大阪学院大学 大学事務長) 葛西 崇文氏 (大阪女学院大学 管理課 課長) (開催時)	8大学18人 (うち会員外1大学1人)
第2回 (10月25日)	事例を通して 仕事の基本を学ぼう!	佐藤 浩輔氏 (大阪体育大学 庶務部 学長室担当) 加藤 敦也氏 (大阪産業大学 人事部 人事課 主任) 茅野 早希氏 (追手門学院大学 総務部 人事課)	15大学26人
第3回 (12月17日)	学び続ける 大学職員になろう!	佐藤 浩輔氏 (大阪体育大学 庶務部 学長室担当) 滝口 雄貴氏 (大阪医科薬科大学 人事部 人事管理課 主任)	14大学29人 (うち会員外1大学1人)

【インストラクショナルデザイン (ID) 研修】

- ・ 大学職員を対象に、教え方のセオリーを学び、そのノウハウを自大学の SD 研修の企画や業務で活かせるようになることを目的に、宮原 秀明氏 (大阪学院大学 大学事務長、大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員長) が講師を務めるオンデマンド講座を2022年11月2日より大学コンソーシアム大阪のホームページにて提供している。
- ・ 会員大学への広報強化のために、2024年2月に周知用チラシをリニューアルし、情報発信している。
※ID研修ページ (研修概要) へのアクセス数 (AU数) 507件 ※2025年3月31日現在

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/id> (研修概要)

<https://donow2016.com/id/2022/> (研修詳細)

【管理職者 SD 研修】

- ・本研修は、2022 年度および 2023 年度の「大学コンソーシアム大阪 中期計画推進に係る提案型研究事業」での選定事業として、大阪女学院大学、大阪学院大学、大阪電気通信大学 3 大学連携により推進されてきたものであるが、2024 年度より研修事業の一つとして位置付け、2025 年 2 月に実施した。

<開催概要>

開催日	テーマ	講師	受講者数
2月27日	信頼関係を育む コミュニケーションを 考える	葛西 崇文氏 (愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 特定研究員・特任助教) 早野 秀樹氏 (学校法人大阪電気通信大学 法人事務局 総務部 部長) 宮原 秀明氏 (大阪学院大学 大学事務長)	12 大学 15 人 (うち会員外 1 大学 1 人)

取組 2 サロン・ド・大学コンソーシアム大阪 (SD 勉強会)

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/staff/salon>

目標	・参加者が主体的に情報交換や交流を行っている。
数値目標	・会員大学の参加率：会員大学数の 60%以上の参加大学数／各年
活動指標	・開催回数：3 回以上／各年
実績	・3 回実施 (第 1 回：11 月 27 日、第 2 回：2025 年 1 月 15 日、第 3 回：2025 年 2 月 14 日)

- ・昨今の大学における様々な課題について、参加者相互の情報交換や意見交換を行う勉強会として実施している。今年度は、「メンタルヘルス」、「生成 AI」、「LGBTQ+」の 3 テーマを取り上げ、下半期に開催した。

<開催スケジュール>

回・開催日	テーマ・講師	参加者数
第 1 回 (11 月 27 日)	自分の強みを発見してそれを活かすポジティブ心理学 島井 哲志氏 (関西福祉科学大学 客員教授／大阪大学 全学教育推進機構 招へい教員)	9 大学 14 人
第 2 回 (1 月 15 日)	生成 AI 活用の基礎とプラクティス 森木 銀河氏 (九州大学 IR 室 学術推進専門員)	15 大学 27 人
第 3 回 (2 月 14 日)	SOGI (性的指向・性自認) の多様性と学生支援 東 優子氏 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授／ アクセシビリティセンター 副センター長)	11 大学 12 人 (うち会員外 1 大学 1 人)

課題7 大阪の様々な課題に対応した取り組みの拡充

月	会議	行事
4	第1回分科会1 (26日)	
5	第2回分科会1 (24日)	提案型研究事業選定 (31日)
6	第1回協議会 (4日) 第3回分科会1 (21日)	
7	第4回分科会1 (31日)	公開講座 第1回 (13日) ~以降、順次開催
8	第5回分科会1 (23日)	第1回FD研修 (21日) ~順次開催
9	第6回分科会1 (13日)	MOS資格取得講座開講 (9月24日~11月30日)
10	第7回分科会1 (18日)	タイプ3申請 (31日までに)
11	第8回分科会1 (22日)	
12	第9回分科会1 (20日)	
1	第10回分科会1 (24日)	
2	第11回分科会1 (21日)	
3	第12回分科会1 (21日)	

取組1 学生ボランティアの拡充 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/student/volunteer>

目標	・事業の企画運営に学生が主体的に関わる機会が創出されている。
数値目標	・学生の参加数：各部会事業への企画・運営に関わった学生数延べ200人/計画期間内
活動指標	・既存事業やその他事業へ学生ボランティア参画：2事業以上/各年
実績	・6事業 (地域連携学生フォーラム、学生英語プレゼンテーションコンテスト、国際交流イベント(大阪のまちあるきツアー)、ACT交流イベント(3件))

- ・地域連携や国際交流のイベント運営に係る有志学生の参画のほか、2021年度より学生交流イベントを主体的に企画・運営する「学生ボランティアチームACT」が発足し、2023年度からACTの活動支援を地域連携部会事業の一つとして位置付け、推進委員による助言のもと、様々な大学の学生が集いながら自由な発想によるイベントを行っている。(2024年度の活動詳細は、本報告書13ページに記載。)

取組2 連携調査・研究の実施

目標	・大学間、また産官学の連携による調査や研究が恒常的に実施されている。
数値目標	・連携調査・研究実施数 延べ15件/計画期間内
活動指標	・連携調査・研究テーマ数 2テーマ以上/各年
実績	・調査：2テーマ 新生対象薬物意識調査、大阪府内の高等学校と大学の連携強化に向けたニーズ調査 ・研究：1テーマ 中期計画推進に係る提案型研究事業(1件採択)

- ・新生対象薬物意識調査は、今回4回目の実施となり、調査結果を薬物乱用防止の啓発に繋げるために、調査内容に性別を回答する項目を設けるなど、より詳細な実態の把握に努めた。結果、参加大学数、回答数ともに改善が図れていない状況が続いている。
大阪府内の大学が一体となった薬物乱用防止の啓発活動を展開するためにも、今後各大学において導入しやすい方策を検討するなどしていきたい。
- ・今年度の「大学コンソーシアム大阪 中期計画推進に係る提案型研究事業」の応募数は1件、また審査の結果同事業が採択された。

<採択事業> ※★は研究代表大学

- ・大学職員の中堅層向け研修プログラム開発に向けた研究(大阪体育大学★、大阪公立大学、大阪国際大学)

取組3 地域課題に対応した取り組みの推進

目標	・産官学連携による課題解決体制が整備されている。
数値目標	・実施事業数 延べ5事業／計画期間内
活動指標	・実施事業数 1事業以上／各年
実績	・5事業実施 (大阪府内地域連携プラットフォーム主催FD・SD研修、公開講座、MOS資格取得講座、リカレントプログラムポータルサイトによる情報発信、活動報告会)

【大阪府内地域連携プラットフォームの取組】 <https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform>

・今年度は、以下の取組を推進した。詳細は以下のとおり。

<FD・SD研修>

・今年度の大学教職員対象研修はさらなる拡充を図ることを決定し、以下のとおり計3回開催した。

回	開催日程	テーマ	講師
1	8月21日(水) 13:30~16:30	授業デザインの基本 (FD)	竹中 喜一氏 (近畿大学 IR・教育支援センター 准教授)
2	8月29日(木) 13:30~15:30	働きやすさと学びやすさを作るために 必要なことについて考える ～大学で働く人と学ぶ人の メンタルヘルスケア 令和編～ (FD・SD)	川端 康雄氏 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室 公認心理師・臨床心理士)
3	9月17日(火) 13:30~15:30	ジェンダーの多様性を尊重した キャンパスを目指して (FD・SD)	上野 淳子氏 (四天王寺大学 社会学部 准教授)

<公開講座>

・大阪・関西での課題や関心の高いテーマに基づき、大学連携による公開講座を3月までに全13回にわたり開催した。

回	開催日程	テーマ	講師
1	7月13日(土) 13:00~14:20	精神障害のある人の地域移行	辻井 誠人氏 (桃山学院大学 副学長兼社会学部教授)
2	7月26日(金) 18:00~19:20	大阪の芸能と仏教	釈 徹宗氏 (相愛大学 学長)
3	8月9日(金) 18:00~19:20	未来へつなげる域学連携	久保 由加里氏 (大阪国際大学 国際教養学部 国際観光学科 教授・学科長)
4	8月19日(月) 13:30~14:50	自分でつくる自分の健康 ～人生100年を彩るために～	中村 晶子氏 (大阪青山大学 看護学部 看護学科 准教授)
5	8月24日(土) 13:00~14:20	妊娠・出産から高校・大学等までの 子育て教育費支援の自治体調査	渡部 昭男氏 (大阪信愛学院大学 教育学部 教授)
6	8月30日(金) 15:30~16:50	大阪府における障がい者虐待の実態について ～養護者による虐待を中心に～	潮谷 光人氏 (東大阪大学 こども学部 こども学科 教授・学科長)
7	9月9日(月) 18:00~19:20	災害関連死を防ぐ備え方	西上 あゆみ氏 (藍野大学大学院 看護学研究科 研究科長・ 藍野大学 医療保健学部 看護学科 教授)
8	9月14日(土) 13:00~14:20	見覚えのある大阪の風景 —「浪花百景」に描かれる遠景描写を中心に	永田 雄次郎氏 (大阪学院大学 国際学部 教授)
9	9月21日(土) 13:00~14:20	韓国ドラマから読み解く韓国文化 ※2024年度 大阪女学院大学・短期大学 ウエルミナ公開講座と共催	金 姫淑氏 (大阪女学院大学・短期大学 専任講師)
10	9月27日(金) 18:00~19:20	持続可能な地域づくりと観光の在り方を 考える	大和 里美氏 (大阪経済大学 国際共創学部 教授)
11	11月7日(木) 19:00~20:20	日韓の相互認識と大阪	古田 富建氏 (帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部 教授)
12	3月22日(土) 10:00~11:30	生成AIの活用とリスク	佐野 睦夫氏 (大阪工業大学 情報科学部 特任教授)
13	3月29日(土) 10:00~11:30	転換期にある地域の観光振興・特産品づくり —農業特産品づくりを例として—	橋本 行史氏 (大阪観光大学 観光学部 教授)

<大阪府域のリカレント教育推進に係る各種取組>

■社会人向けプログラム（リカレントプログラム）の実施

- ・近年の社会環境の大きな変化やDX化の急速な移行に対応するため、現役社会人を対象にITに関する知識やスキルの向上を目指すオンデマンド講座を開催している。
- ・今年度はマイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）資格の取得を目指す3講座を開講した。

開催期間：2024年9月24日（火）～11月30日（土）までの約2か月間
講座名：MOS 資格取得講座（オンデマンドによる3講座：Word/Excel/PowerPoint）
対象：キャリアアップ等のために、マイクロソフトスペシャリスト資格取得を目指す ①～③のいずれかに該当する方。※学生は除く。 ①現在職に就いている方 （給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事に就いている方） ②給料、賃金、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した方 ③主婦・主夫の方
受講者数：計13人（内訳：Word 1人、Excel 8人、PowerPoint 4人）

■会員大学リカレントプログラム ポータルサイトによる情報発信

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/platform/program>

- ・2023年8月に大阪商工会議所との連携により、会員大学が実施するリカレントプログラムを一元化したポータルサイトを大学コンソーシアム大阪のホームページに開設した。今後広く活用可能なサイトとして情報の拡充等に努めていく。

<大阪府内地域連携プラットフォーム 活動報告会>

- ・大学コンソーシアム大阪及び大阪府・市・大阪商工会議所との連携による取組を広く発信しながら、参加者による意見交換を目的とした活動報告会を2024年5月25日に開催した。
- ・今回は、「大阪・関西の再生と成長に向けたプラットフォームの役割とは」をテーマに、大学コンソーシアム大阪 企画・運営委員会 副委員長の安孫子 勇一氏（近畿大学 経済学部 教授）による講演のほか、それを踏まえた参加者による意見交換を行った。

<分科会1の設置と私立大学等改革総合支援事業（タイプ3・プラットフォーム型）の申請>

- ・2024年5月に開催した第18回通常総会において、今年度も私立大学等改革総合支援事業（タイプ3・プラットフォーム型）に申請することが全会一致で承認された。これを受けて大阪府内地域連携プラットフォーム協議会のもとに本事業の申請に関する検討等を行う「分科会1」を設置し、選定・点数加算に向けた取組を進めた。

取組4 大阪・関西万博との連携

目標	・万博への積極的な参画を通じて大阪・関西の活性化に寄与している。
数値目標	・実施事業数 延べ10事業／計画期間内
活動指標	・実施事業数 2事業以上／各年
実績	4事業実施 ・SDGs や万博をテーマとした単位互換科目（センター科目、大阪大学提供）を新設 ・グローバル人材育成講座：2024年9月開催 ・学生英語プレゼンテーションコンテスト（万博をテーマに）：2024年12月開催 ・地域連携学生フォーラム in 2024 Osaka（学生交流企画内にて）：2024年10月開催

- ・大阪・関西万博開催が間近に迫る中、2023年8月に大学コンソーシアム大阪・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会間の大阪・関西万博に向けた取組等の連携推進に関する協定に基づき、若者（大学生）や大学の万博に対する機運醸成に向けた各種取組を実施した。

課題8 その他の取組

【日本インターンシップ学会との連携取組】

- ・2024年12月、日本インターンシップ学会関西支部と大学コンソーシアム大阪の共催による研究会を開催した。今回のテーマは「強みを活かしたインターンシップの取り組み」とし、大学コンソーシアムひょうご神戸、京都先端科学大学よりそれぞれの強みを活かしたインターンシップに関する事例発表が行われ、参加者間による活発な意見交換や情報交換がなされた。